

中津市で地域おこし協力隊「オイスターファーマー枠」の募集開始
～水産スタートアップ・リブル、水産 HR の取組として牡蠣養殖への挑戦を伴走支援～

中津干潟のブランド牡蠣「ひがた美人」の担い手候補を、地域おこし協力隊制度で募集



▲ 中津市「オイスターファーマー枠」募集開始（イメージ）

中津市は、中津干潟で育まれるブランド牡蠣「ひがた美人」の生産を担う人材を、地域おこし協力隊制度を活用した「オイスターファーマー枠」として募集します。株式会社リブル中津支店（本社：徳島県海部郡海陽町、以下「リブル」）は、水産 HR 事業の取組の一環として、着任する隊員の牡蠣養殖技術の習得や日々の活動を伴走支援します。

本募集の実施主体は中津市であり、募集要項、応募条件、待遇、活動内容等の詳細は、中津市が公表する正式な情報をご確認ください。

【中津市 地域おこし協力隊募集ページ】

<https://www.city-nakatsu.jp/doc/20260609000065/>

※リブルは募集の実施主体ではなく、着任後の技術習得を支援する立場として関わります。



▲ 中津干潟で育まれるブランド牡蠣「ひがた美人」

中津市では、2025年度に3年ぶりとなる牡蠣小屋が復活し、地域内外から多くの関心が寄せられています。牡蠣小屋の復活を一過性の話題にとどめず、中津干潟に根ざした牡蠣産業のさらなる発展や、次世代の担い手育成につなげていくことが期待されており、今回の地域おこし協力隊「オイスターファーマー枠」の募集は、その一環として位置づけられるものです。

着任した隊員は、種苗生産からシングルシード方式による海面養殖、陸揚げ、選別、出荷に至るまで、牡蠣づくりの一連の流れを現場で経験します。また、養殖作業の記録や環境データを活用しながら、経験と勘だけに頼らない、これからの水産業に求められるデータに基づく養殖管理についても学ぶ機会があります。



▲ 実際の漁場で、シングルシード養殖の技術を学ぶ様子（イメージ）

中津干潟には、地域ブランドとして認知される「ひがた美人」があり、実際の生産現場で技術を学べる環境があります。地域おこし協力隊制度を活用することで、生活基盤を確保しながら、3年間じっくりと技術を身につけることができます。将来的な独立や地域での就業については、隊員本人の意向や活動状況に応じて、着任後に検討されるものです。

中津市と大分県漁協中津支店、リブルは、それぞれの立場から、中津の牡蠣産業の持続的な発展と、次世代の担い手育成に取り組んでまいります。

募集する人材像

本募集では、牡蠣養殖の経験の有無にかかわらず、中津の海と地域に向き合いながら、将来的に水産業の担い手として挑戦したい方を募集します。

特に、次のような方を歓迎します。

- 自然や海に関わる仕事に挑戦したい方
- 地域に根ざした一次産業に関心がある方
- 将来的に牡蠣養殖での独立や就業を目指したい方
- 経験とデータの両方を活かす新しい水産業に関心がある方
- 中津の牡蠣産業と一緒に盛り上げたい方

リブルによる伴走支援

1. 「ひがた美人」の生産現場で学べる環境

中津干潟で育まれる「ひがた美人」は、地域の関係者が長年にわたり大切に育ててきたブランド牡蠣です。着任後は、その生産現場に関わりながら、品質づくりや出荷までの流れを学ぶことができま

す。

2. 株式会社リブルによる実践的なサポート

リブルは、種苗生産施設での研修、シングルシード養殖の実践、データを活用した養殖管理の習得など、多角的な学びの機会を提供します。現場での実践と体系的なサポートを組み合わせることで、牡蠣づくりの一連の流れを深く理解できる環境を整えます。

種苗生産からシングルシード養殖まで学ぶ



種苗飼育



顕微鏡観察



幼生から稚貝へ

0型幼生(60μm) → アンバ期幼生(150μm) → 付着期幼生(300μm) → 稚貝



海面養殖へ

▲ 種苗生産からシングルシード養殖まで、牡蠣づくりを体系的に学ぶ

3. 地域おこし協力隊制度を活用し、生活基盤を持ちながら挑戦できる

本募集は、地域おこし協力隊制度を活用して実施されます。収入や住居面の支援を受けながら地域に入り、3年間じっくりと技術を学べるため、未経験からでも水産業に挑戦しやすい環境です。

各者の役割

中津市

地域おこし協力隊制度を活用した人材募集、移住・定住支援、地域との連携支援を行います。

大分県漁業協同組合 中津支店

地域漁業者間の折衝、保険、将来的な組合員加入の支援を行います。

株式会社リブル中津支店

水産 HR 事業の取組として、種苗生産、シングルシード養殖、データを活用した養殖管理に関する知見を活かし、着任した隊員の技術習得や活動を伴走支援します。

背景

近年、全国の水産業では担い手不足や高齢化が大きな課題となっています。各地で牡蠣の不作が報じられる機会も増えていますが、中津干潟では継続的な取り組みにより生産環境が復調し、「ひがた美人」の生産も着実に続けられています。

中津市には、豊かな干潟環境と、地域ブランドとして認知されている「ひがた美人」があります。2025 年度に牡蠣小屋が 3 年ぶりに復活した今、中津の牡蠣産業をさらに発展させ、将来にわたって続く産業として育てていく好機です。今回の地域おこし協力隊「オイスターファーマー枠」の募集は、その一歩として、地域外からも意欲ある人材を呼び込み、中津の海で学び、育つ機会を提供するものです。

今後の予定

今後、中津市より地域おこし協力隊の募集要項を公表し、応募受付を開始する予定です。募集内容、応募条件、活動内容、待遇等の詳細については、中津市の公式情報をご確認ください。

【募集期間】 令和 8 年 6 月 1 0 日～7 月 2 4 日

【インターン】 令和 8 年 8 月 2 4 日～9 月 6 日

【着任日】 令和 8 年 1 2 月 1 日～

中津の海で学び、中津の牡蠣産業を育て、日本の水産業の未来を切り拓く。

そんな挑戦に関心のある方からの応募をお待ちしています。

本件に関するお問い合わせ

大分県中津市産業経済部 林業水産課水産振興係

担当：中畑

TEL：0979-62-9051

E-mail：nakahata.masataka@city.nakatsu.lg.jp

株式会社リブル中津支店

担当：高畑

E-mail：info@reblue-k.com